

# 穴粟市手話施策推進方針 実施予定事業

(令和5年2月末時点)

評価基準	区分	評価内容	実施率
	A	計画通りに実施できている	80~100%
	B	概ね実施できているが、検討の余地有	60~80%
	C	実施無し又は事業の見直しが必要	60%以下

施策1	手話に対する理解及び手話の普及
施策の方針	市民や事業者、子どもなどが身近に手話とふれあい、手話やろう者に対する理解を深め、手話を学びやすい機会を提供する
推進施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 手話言語の認知・手話やろう者の理解を深めるための普及啓発活動</li> <li>(2) 手話を慣れ親しむための手話教室の開催・手話を学ぶ環境づくり</li> <li>(3) 市職員に対する手話の理解・普及</li> <li>(4) 市内事業所を対象とした啓発・手話教室等の開催</li> </ul>

推進 施策	事業名	所管課	事業内容（方法） ★…アクションプラン	評価指標	見込 目標	実績	評価	課題・改善点
(1)	①しろうチャンネルを用いた手話啓発動画の製作・放送	障害福祉課	啓発動画をしろうチャンネルで放送し、広く市民へ手話への理解を広げる。 ①しーたん手話講座の製作・放送 ②聞こえの仕組みや聴覚障害への理解を深める動画の製作・放送	製作数（しーたん） 製作数（聞こえ等）	2 2			
	②広報しろうの定期掲載	障害福祉課 広報情報課	手話言語の国際デー啓発イベント等、手話に関する記事を「広報しろう」に掲載 その他、ホームページ等を利用し、ワンポイントレッスン等啓発  ・掲載回数：2回/年 ・その他啓発	・掲載回数 ・その他啓発	2 10			手話ワンポイントレッスンは、広報担当課から継続掲載は難しく他の方法をとりながら掲載継続を検討していくとのことであるため、手話言語の国際デー啓発イベント等に合わせ特集記事を掲載することを検討する。
	③手話言語の国際デー啓発イベントの実施	障害福祉課	手話言語の国際デー（9/23）にあわせ、ライトアップや展示ブースを設置するなどイベントを実施する。	・実施回数	1			・2週間程度の実施期間を設ける。 ・ブルーライトアップ、展示ブースを設置 ・ろうあ協会・手話サークルに事前調整のうえ、周知啓発動画の作成を検討する。
	④映画「咲む」の上映	社会教育文化財課 障害福祉課	一般社団法人全日本ろうあ連盟が制作した、映画「咲む」を上映	・上映回数	1			社会教育文化財課と連携し、周知活動等に取り組む。
(2)	①学校園所等を対象とした手話教室の実施	障害福祉課 学校教育課	市内学校園所、手話教室の受講を希望する5人以上のグループ等に対し、講師を派遣し手話教室を実施  ・2時間/回  早い段階から手話に触れる機会をつくり、手話や手話を必要とする方への理解を深めるため、市内小中学校で手話教室を実施  ★市内全15校で実施（8割）	・実施回数（小・中） ・実施校数（小・中） ・実施回数（その他） ・受講者数 ・理解度（ア） ・満足度（ア）	15 15 3 250 80% 80%			・R5.4校長会に手話教室の実施について依頼予定。

推進 施策	事業名	所管課	事業内容（方法） ★…アクションプラン	評価指標	見込 目標	実績	評価	課題・改善点
(2)	①学校園所等を対象とした手話教室の実施	障害福祉課 学校教育課	聴覚に障害のある児童が在籍している学校に対して、複数回プログラムで手話教室を実施 ★プログラム作成のため、教育委員会及び学校と調整（試験的实施及び評価・検証）	・実施校数 ・実施回数 ・理解度（ア） ・満足度（ア）	2 6 80% 80%			4年間（R3～R6）の実施計画 R5年度実施計画 ①対象児への手話指導 各校2回 ②通常学級での手話教室 各校1回
	②はじめての手話教室の実施	障害福祉課	手話に興味のある市民を対象に聞こえや聴覚障がい理解を深める教室を実施 ・2時間/回	・実施回数 ・受講者数 ・理解度（ア） ・満足度（ア）	2 20 80% 80%			年度末に開催予定。 児童・学生向けに夏休み期間中の開催を検討する。
	③通いの場づくり応援事業における手話教室の実施	障害福祉課 福祉相談課	地域の高齢者団体に対して、健康づくり・介護予防に関するミニ講座（手話教室）を実施 ・30分/回 ・講師：設置手話通訳者	・実施回数 ・受講者数 ・理解度（ア） ・満足度（ア）	5 60 80% 80%			
	④民生委員対象手話教室の実施	障害福祉課 社会福祉課 他	支部定例会等の機会を利用した手話教室を実施 ・1時間×2回 ・講師：ろう者の講師、設置手話通訳者	・実施回数 ・受講者数	2 30			
	⑤イベントを活用した手話の普及啓発活動	障害福祉課	市内イベント参加者へ手話の普及を図るため、啓発ブース出展 ★市内イベントにおいて、手話ブースの出展	・出展回数 ・参加人数	1 500			①手話言語の国際デーに合わせライトアップや展示を実施。 ②障害者週間の取組の一環として市が開催する展示会（こころのバリアフリー展）で手話ブースを設置。 ③地域イベント等での出展交渉を検討する。
	⑥宍粟市で手話検定を開催	障害福祉課	手話学習への意欲向上を図るため、宍粟市で手話検定を実施する ★検定実施	・実施回数 ・受験者数	1 10			申込者が集まりにくい状況であるため、継続実施に向けた周知方法等の工夫を検討する。

推進 施策	事業名	所管課	事業内容（方法） ★…アクションプラン	評価指標	見込 目標	実績	評価	課題・改善点
(3)	①【職員対象】 公立病院、消防署、教職員を対象した手話教室の実施	障害福祉課 学校教育課	医療、救急、教育関係の業務に従事する職員に対し、手話教室を開催	・実施回数 ・受講者数	4 60			
	②【職員対象】 昼休憩時を利用した手話教室の実施等	障害福祉課	昼の休憩時間を活用し、手話教室を実施 ・15～20分/回 ・講師：設置手話通訳者	・実施回数 ・受講者数（延べ）	12 120			
	③【職員対象】 新規採用職員を対象とした手話講座の実施	障害福祉課	新任職員を対象に新任職員研修時に手話講座を実施 ・2時間×1回 ・講師：ろう者の講師、設置手話通訳者	・実施回数 ・実施時間	1 2			
(4)	①事業所への啓発	障害福祉課	手話の普及に積極的な事業所を協力事業所として登録 ★登録事業者の募集 (評価・検証及びカリキュラムの調整)	・協力事業所登録数	4			
	②事業所を対象とした手話教室の実施	障害福祉課	ろう者への理解、職場環境の改善などを目的に、事業所に対して手話教室を実施 ・1.5～2時間/回 ★手話講座の実施・ステッカーの配布 (評価・検証及びカリキュラムの調整)	・実施回数 ・受講者数 ・周知回数 ・配布部数	4 80 2 50			商工会に協力を求めながら手話教室の実施にむけて調整する。

施策2	手話による情報取得及び手話の使いやすい環境づくり
施策の方針	ろう者が地域で主体的に生活していくために、音声言語による行政情報等の提供や市民が参加する会議等において、手話通訳者等の派遣を行うなど、手話による情報取得ができる環境づくりを実施する
推進施策	(1) 市主催イベントや議会における手話通訳者の派遣 (2) 手話通訳者派遣事業の充実 (3) 緊急時等の支援体制構築 (4) ICTを活用した意思疎通支援体制の構築

推進施策	事業名	所管課	事業内容（方法） ★…アクションプラン	評価指標	見込目標	実績	評価	課題・改善点
(1) (2)	①意思疎通支援事業 (手話通訳者の派遣)	障害福祉課	ろう者又はろう者と意思疎通を図る必要がある人に対して手話通訳者を派遣  <ul style="list-style-type: none"> <li>手話通訳者等の派遣調整業務（個人・団体）</li> <li>登録手話通訳者の健康管理業務（保険・けいわん検診）</li> <li>設置手話通訳者の配置</li> <li>庁舎内での手話通訳業務</li> <li>ろう者に対する窓口相談、対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>派遣件数（全）</li> <li>派遣件数（手）</li> <li>登録者数</li> <li>設置通訳者数</li> <li>窓口相談件数</li> <li>受診者数</li> </ul>	770 600 15* 2 350 6			※新規登録者の見込なし。
(2)	②日中の居場所・交流スペースの提供	障害福祉課	ろう者が自分たちの言語で自由に交流できる居場所を提供する。  ★試験的实施（評価・検証）	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施回数</li> <li>参加者数</li> </ul>				令和4年度にイベントの中で手話サロンを開催し、1回目と2回目の参加者数に大きな開きがあった。R5年度の実施については関係団体と協議調整する。ロビー販売会と同日実施などを検討する。
(3)	①災害時の支援体制	障害福祉課 危機管理課	災害時の支援体制の充実について、関係部局と連携、調整  <ul style="list-style-type: none"> <li>市防災訓練への参加調整</li> <li>福祉避難所での意思疎通支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>訓練参加者数</li> <li>福祉避難所参加者数</li> <li>コミュニケーションボードの活用</li> </ul>	4 4 有			

推進 施策	事業名	所管課	事業内容（方法） ★…アクションプラン	評価指標	見込 目標	実績	評価	課題・改善点
(3)	②緊急時（急病・事故・火事）の派遣体制の構築	障害福祉課	担当課に緊急携帯を設置し、夜間休日の緊急時における派遣体制を構築 ・緊急対応者（手話通訳者）の登録、連絡名簿の作成 ・緊急時の対応について、西はりま広域消防本部と連携 ・緊急時対応名簿を作成し宿直室へ設置	・対応件数（派） ・対応件数（設）	85 15			
		障害福祉課 西はりま消防組合	緊急通報が入った際に、円滑に派遣調整が行えるよう、西はりま消防組合と連携して、Net119を利用した緊急通報時の派遣訓練を実施 ★定期的な訓練の実施（訓練内容の評価、実施報告に基づく評価・検証）	・参加者数				西はりま消防組合と連携して緊急通報の練習を実施する。
	③コミュニケーションボードの作成	障害福祉課 危機管理課	意思疎通を円滑にするため、災害時の避難所や日常生活時に活用できるコミュニケーションボードを作成 ★買い物用ボードの作成	・設置数 ・配布数	29 100			買い物用コミュニケーションボードの事業所設置について、他市町の状況を調査したうえで、設置について検討を行う。
	④Net119緊急通報システム利用登録に係る周知・申請サポート	障害福祉課 西はりま消防組合	Net119の利用登録に係る周知及び利用登録サポートを、西はりま消防組合と連携して実施 ★西はりま消防組合と連携し利用登録説明会の実施 ★利用登録のサポートを実施	・登録者数	25			
	⑤災害用スカーフの使用・啓発	障害福祉課 危機管理課	危機管理課と連携し、スカーフを使用した防災訓練を実施する	・訓練回数 ・参加者数 ・周知回数	1 5 1			危機管理課と調整したうえで、スカーフを使用した防災訓練を実施するとともに広報等で周知啓発を行う
(4)	①ビデオ通話による対応	障害福祉課	ろう者が自宅から（簡易な）相談、問合せに対応するため、タブレット端末を設置し、手話通訳者がテレビ電話で対応 ・設置数 1台 ・設置場所 障害福祉課	・設置箇所 ・設置数 ・相談件数	1 1 48			

推進 施策	事業名	所管課	事業内容（方法） ★…アクションプラン	評価指標	見込 目標	実績	評価	課題・改善点
(4)	②ICTを活用した支援体制 の調査・研究	障害福祉課	先進地でも取り組み事例を参考に、宍粟市で実 施可能な方法について調査、研究を実施  ★導入市町の調査結果の評価・検証					<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠隔手話通訳サービスを運 用。</li> <li>・他のICT活用について検証 する。</li> </ul>

施策3	手話通訳者の配置の拡充及び待遇改善
施策の方針	ろう者が日常生活の様々な場面で手話による意思疎通を行い、自立した生活を送るために設置通訳者及び手話通訳者の確保及び養成を実施する
推進施策	(1) 設置手話通訳者の待遇改善 (2) 手話奉仕員養成講座の実施 (3) 手話通訳者の確保・養成 (4) その他意思疎通支援事業に必要な事業

推進 施策	事業名	所管課	事業内容（方法） ★…アクションプラン	評価指標	見込 目標	実績	評価	課題・改善点
(1)	①設置手話通訳者の配置	障害福祉課	庁内の各種手続きへの通訳対応、派遣調整を行うため、手話通訳者を設置 設置手話通訳者の正規職員化  ・設置手話通訳者数 2名 (①週5日、②週4日：6h/日)	・設置通訳者数 ・窓口相談件数 ・訪問対応件数	2 350 10			
(2)	①手話奉仕員養成講座（入門編）の実施	障害福祉課	手話に関心のある者及び奉仕員活動に興味のある者を対象に、手話奉仕員養成講座を実施  ・2時間×20回/年 ・R1より入門・基礎を同時実施	・実施回数 ・受講者数 ・修了者数 ・サークル加入者	20 15 10 3			入門編修了が基礎編の参加資格となっており、入門編参加者10名全員が修了者となることが少ないため、基礎編申込者の確保が難しくなることから、入門編の定員を15名として開催したいと考えている。 ※講師陣との調整が必要
	②手話奉仕員養成講座（基礎編）の実施	障害福祉課	手話に関心のある者及び奉仕員活動に興味のある者を対象に、手話奉仕員養成講座を実施  ・2時間×22回/年 ・R1より入門・基礎を同時実施	・実施回数 ・受講者数 ・修了者数 ・サークル加入者	22 10 10 2			

推進 施策	事業名	所管課	事業内容（方法） ★…アクションプラン	評価指標	見込 目標	実績	評価	課題・改善点
(2)	③手話教室や養成講座受講後の復習用テキストの作成・配布	障害福祉課	手話講座の内容や素材を活用し、手話教室の復習を目的としたパンフレットを製作し、配布 ★パンフレットの作成 ★手話教室受講者へ作成・配布 (評価・検証及び内容の見直し)	・配布数	400			
(3)	①レベルアップ講座の実施(クラス1)	障害福祉課	手話通訳者養成講座受講予定者又は手話通訳者全国統一試験受験予定者 ・2時間×6回/年 ・講師：兵聴協へ依頼	・実施回数 ・受講者数 ・理解度(ア) ・満足度(ア)	6 10 80% 80%			
	②レベルアップ講座の実施(クラス2)	障害福祉課	手話奉仕員養成講座終了程度 ・2時間×6回/年 ・講師：地元講師へ依頼	・実施回数 ・受講者数 ・理解度(ア) ・満足度(ア)	6 10 80% 80%			
	③手話通訳者全国統一試験対策講座の実施	障害福祉課	手話通訳者全国統一試験受験者に対して、試験前に対策講座を実施 ・2時間×4回/年	・実施回数 ・受講者数 ・理解度(ア) ・満足度(ア) ・合格者数	4 3* 80% 80% 3			*穴粟市に登録又は在住で受験可能な者3名
	④登録意思疎通支援者現任研修の実施	障害福祉課	登録手話通訳者に対して、(困難事例)事例検討を主とした現任研修を実施 ・2時間×4回/年	・実施回数 ・受講者数 ・理解度(ア) ・満足度(ア)	4 15 80% 80%			
	⑤登録手話通訳者の有資格化	障害福祉課	適切な情報保障及びコミュニケーション支援を行うため、登録者の有資格化を実施 ★派遣活動調査の実施 ★基準登録者の増員に係る課題把握	・有資格者 ・有資格率	11 73%			有資格者10名 有資格率77%

推進 施策	事業名	所管課	事業内容（方法） ★…アクションプラン	評価指標	見込 目標	実績	評価	課題・改善点
(3)	⑥手話通訳士試験対策講座 の実施	障害福祉課	適切な情報保障及びコミュニケーション支援を 行うために手話通訳者に対して手話通訳士試験 対策講座を実施し、資格取得支援を行う。  ★登録者中、有資格者数の割合が50%に到達 した時点で、実施を検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施回数</li> <li>受講者数</li> <li>理解度（ア）</li> <li>満足度（ア）</li> </ul>	4 10* 80% 80%			R3年度より実施。 *未登録者2名含む。（試験合格 の場合、宍粟市に登録）
(4)	①けいわん検診受診費用公 費負担の実施及び受診率向 上	障害福祉課	けいわん検診受診者に対して、検診費用を負 担、受診率の向上  ・公費負担額 検診費用全額（6,696円/人）  ★全登録者に対して受診勧奨 （受診率向上に向けた方策の検討）	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診者数</li> <li>受診率</li> </ul>	6 50%			*受診率については、登録者総 数から、宍粟市外の居住地でけ いわん検診を受診した者の数を 除いて算出する。
	②登録者の資格に応じた派 遣調整の明確化	障害福祉課	資格や経験を積んだ通訳者の派遣が必要な場合 など、資格区分に応じた派遣調整ができるよ う、派遣内容を区分化  ★内規改正、派遣調整マニュアル等の作成					実際の運用を参考に派遣調整の ルールづくりをする。
	③福祉サービス総合保障保 険の加入	障害福祉課	派遣者の活動中などの事故等の保障を行うた め、福祉サービス総合保障保険（全社協）に加 入  ・加入プラン：Aプラン、感染症補償（新型コ ロナウイルス感染症も対象）	<ul style="list-style-type: none"> <li>加入の有無</li> <li>保険適用件数</li> </ul>	有 0			R5.3加入予定。
	④意思疎通支援事業連絡会 の開催	障害福祉課	登録意思疎通支援者との連絡会を開催し、登録 者及び行政間で派遣事業に係る課題等を情報共 有	<ul style="list-style-type: none"> <li>開催回数</li> </ul>	1			